

公益財団法人さんりく基金
令和3年度第1回理事会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和3年5月25日(火) 午後1時30分から午後2時35分
(2) 場所 岩手県医療局会議室(盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎5階)
及びWeb会議システム

2 役員の現在数 理事10名 監事2名

3 出席者

(1) 理事

代表理事	保 和衛	業務執行理事	箱石 知義
業務執行理事	高橋 一志	理 事	柿沼 正人
理 事	後藤 均	理 事	松田 淳

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom」により参加した。

理 事	青山 潤	理 事	菅野 信弘
理 事	中村 一郎		

(2) 監事

監 事	菊池 芳泉
-----	-------

(3) 事務局

事務局 局長	箱石 知義	事務局 次長	及川 有史
総務管理部長	本多 牧人	DMO事業部副部長	鈴木 静子
総務管理部副部長	藤原ひろみ	事務局 員	佐々 悠
事務局 員	田村 優子	事務局 員	原 由実

4 欠席者

理 事	熊谷 敏裕	監 事	佐藤 修
-----	-------	-----	------

5 議 長

代表理事 保 和衛

6 決議事項

- 第1号議案 令和2年度事業報告及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 令和2年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について
- 第3号議案 公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について
- 第4号議案 公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について

第 5 号議案 令和 3 年度第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等
について

7 議事の経過

午後 1 時 30 分開会した。

箱石業務執行理事が、理事現在数 10 名中本人出席 9 名により定款第 37 条に定める定足数を満たしており、本理事会は成立した旨を告げた。また、理事会運営規則第 13 条の規定により、監事に理事会に出席頂き、意見を頂くこととなっているとの説明があった。その後、保代表理事からあいさつがあった。

続いて、定款第 39 条第 2 項により、議事録署名人は保代表理事、菊池監事であることを確認し、以降の進行は、定款第 36 条の規定により、保代表理事が行うこととなった。

報告「職務執行の状況について」

保代表理事及び箱石業務執行理事が執行状況を報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第 1 号議案「令和 2 年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第 2 号議案「令和 2 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第 1 号議案と第 2 号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、及川事務局次長が説明した。引き続き、監査報告について菊池監事が報告した。

議長が、第 1 号議案、第 2 号議案について一括して質問、意見を求めた。

【青山理事】

調査研究事業について伺いたい。前回の理事会で、複数年にわたる採択事業の話があったが、本資料によると同様の件が見受けられる。いずれも学会発表はするが、事業化に向けた取組は確認が出来ないという状態である。本事業の目的は、地域振興に資する実用性・事業性の高い研究の支援であり、基礎研究については、科研費などの外部資金を県内に持ってきて行うものと考えている。県内の資源は、もっとチャレンジングな、本事業の目的に合致した研究に有効に活用できるような研究に投入した方が良いのではないか。事務局と審査委員会において、どの程度事業の方向性が出来ているのか。

【田村事務局員】

ご指摘のとおり複数年採択されているものがあるが、令和3年度については事業の継続性・発展性、事業化に近いものが優先して採択されるよう条件を付している。本事業の目的に合致した研究の採択に向けて、良く吟味して進めたい。

【松田理事】

調査研究事業では、基礎研究の申請については、どうやって事業につなげていくのかを厳しく見ていったほうがよいのではないかと考える。

11 ページの観光人材の育成の中で「高付加価値型旅行商品」という文言があったが、調査研究事業においても、高付加価値化やブランド化によって今後の事業展開につながるという研究がある。高付加価値化というのは、言い換えると高価格になってしまうので、今の三陸の状況では高価格の商品の事業化には厳しいものがあると思う。調査研究の今後の展開において、ブランド化は良いと思うが、高付加価値化が目的となってしまうと厳しいかもしれないと考える。

マーケティングでは、流通や商品化など全体を見越すことが必要となっているので、調査研究においても、具体的にどのような事業につなげるのか、着地点はどこなのかが想定されているべきと考える。

【中村理事】

コロナで事業実施が厳しかったのではないかとと思うが、観光関係の取組に対し様々な支援をいただき、令和2年度の取組にも力を入れてくれたことに感謝する。

商品造成やモニターツアーの実施などについて、資金的支援があるうちは実施できるが、支援が無くなるとできなくなるものが多いのが実態だと思う。支援が無くなったり、少なくなっても、旅行関係事業者が自前で実施できる形に育つよう持って行っていただきたい。個別事業についてではなく、令和2年度の事業全体についての意見である。

【高橋業務執行理事】

中村理事のご指摘のとおりである。様々な事業を実施したが、広く県外から人を集めるのは難しかったと聞いている。5ページにあるように、三陸観光プランナーは平成28年から人数を伸ばしており、70名前後まで増えてきている。過去にプランナー養成塾の実施会場として使用した施設の方々が、今度は塾生として参加し、旅行商品やコロナの中での対応や、コロナ後のインバウンド需要を考えておられると聞いている。

コロナの中で我慢の時期ということであるが、今の時期を大事にして、三陸全般に観光商品に関する考え方を広げていくといった姿勢で、ご指摘にあったように、支援が薄くなっても継続できるように取組んでいきたい。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案及び第2号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第3号議案「公益財団法人さんりく基金財務規程の一部改正について」

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、本多総務管理部長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第3号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第4号議案「公益財団法人さんりく基金職員就業規程の一部改正について」

議長は、第4号議案について事務局に説明を求め本多総務管理部長が説明した。

議長が、第4号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第4号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第5号議案「令和3年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について」

議長は、第5号議案について事務局に説明を求め、本多総務管理部長が説明した。

議長が、第5号議案について質問、意見を求めた。

【中村理事】

開催日時の曜日が水曜日となっているが、木曜日ではないか。

【本多総務管理部長】

ご指摘のとおり木曜日であり、お詫びして訂正する。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第5号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

①開催日時 令和3年6月10日（木）午前10時30分

②開催場所 岩手県医療局会議室（盛岡地区合同庁舎5階）及びWeb会議システム

③議事に付すべき事項

- ・令和2年度事業報告及び附属明細書の承認
- ・令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認
- ・任期満了等に伴う理事の選任について

その他

(1) 公益財団法人さんりく基金の「観光地域づくり法人（日本版DMO）」への本登録について

(2) 県出資等法人運営評価シートについて

議長はその他事項について説明を求め、高橋業務執行理事及び及川事務局次長が説明した。

議長が、質問、意見を求めた。

【中村理事】

39 ページの3より、登録 DMO に対する国の支援として3つの支援制度の活用が可能になるということだが、現時点で、令和3年度にこれらを活用した取組が予定されているのか伺いたい。

【高橋業務執行理事】

現時点において、さんりく基金DMO事業部では実施していない。三陸沿岸のDMOやDMCなどでは、こういった事業にも関心を持っているので、連携を取りながら直接的支援やマッチングなどを研究して、活用できるものを選んでいきたい。

議長が、その他質問、意見を求めた。

【中村理事】

岩手旅応援プロジェクトの三鉄沿線駅ー1 グルメ旅について、追加資料を配布した。お得なプランであり、多くの方に活用いただきたいので、周りの方にも情報提供していただきたい。

【青山理事】

岩手日報に掲載された「海の勉強室」の記事を追加資料として配布した。被災した前のセンターの跡地に開設された展示施設で、展示内容が非常に充実している。研究者が一方向的に海の情報を発信する場ではなく、皆さんと共に海について考える、全国に三陸の海を自慢する場所として活用したいと考えている。

昨年度から大槌高校の高校生との取組もされており、一緒に作業を進める中で、彼らなりの科学的な知識や海やふるさとへの想いを持つようになっていくということを実感している。北里大学の関係者とも話を進めており、ありきたりの展示施設ではなく色々なことにチャレンジしていきたいと思っているので、アイデアがあればお声かけいただきたい。

【中村理事】

昨年度、大槌町にある東京大学の海洋研と三陸鉄道で「海と希望の学校 on 三鉄」という、三陸鉄道に乗って三陸の海や魚を勉強していただくような取組を初めて実施した。できれば今年度も1、2回は実施したい。三陸の大きな特徴である海の魅力を多くの皆

様に分かりやすくお伝えすることがポイントだと思っている。今後とも、東大海洋研や北里大学と連携しながらそういった取組にも力を入れていきたい。

議長が、その他質問、意見を求めたが、特に発言はなくその他を終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午後2時35分閉会を宣し、解散した。